

第3回 高砂市庁舎整備検討委員会 会議録

- 1 開催日時 平成26年11月27日(木) 午後6時55分～午後8時55分
- 2 場 所 高砂市役所南庁舎2階会議室2
- 3 出席者 (委員) 八木委員長、濱野副委員長、都倉委員、宮本委員、増田委員、
田中委員、新井委員、馬場委員、吉田委員、藤原委員
(事務局) 企画総務部長、企画総務部総務室長、企画総務部総務室総務
課長 まちづくり部まちづくり推進室建築指導課長 他3名
- 4 傍聴者 1名
- 5 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 議題
 - ①高砂市庁舎整備に関する提言書(案)について
 - ②その他
 - (4) 閉会
- 6 配布資料
 - 資料1 高砂市庁舎整備に関する提言書(案)
 - 資料2 第2回検討委員会会議録(要旨)

7 会議録

事務局	<p>1 開会（午後6時55分）</p>
委員長	<p>2 委員長挨拶</p> <p>皆さんこんばんは。1名遅れられるということですが、それ以外の委員はお揃いですので定刻より少し早いですが始めさせて頂きたいと思います。本日はお忙しい中、第3回高砂市庁舎整備検討委員会にお集まり頂きありがとうございます。たたき台をまとめて頂いて、年内にみなさんのご意向がまとまるようにということで資料が作成されているものと思います。事前に資料の方は送付されてみなさんご覧頂いているという前提でこの委員会を進めたいと思いますのでよろしくお願い致します。その前にこの委員会の傍聴は1名いらっしゃいますが皆さんご了承頂けますでしょうか。</p>
委員	<p>了承</p>
委員長	<p>それでは、議題の中で高砂市庁舎整備に関する提言書（案）ということで、章の中の節ごとに区切りながら事務局から説明して頂き、みなさんからご意見を頂くかたちを取りたいと思います。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
	<p>3 議題</p> <p>事務局より説明</p> <p>(1) 高砂市庁舎整備に関する提言書（案）について</p> <p> 第1章新庁舎の必要性について</p> <p> 1 現庁舎の現状、課題</p>
委員長	<p>6ページまでの事務局の説明について、何か不明な点やご意見はございませんか。</p>
委員	<p>3ページの中でIs値が書かれていますが、③南庁舎、④西庁舎・防災センター、⑤水道事業所、⑥下水道事務所は築年は比較的新しく新耐震以降のものとなっています。それと水道事業所は未実施ということですが、これはこれで今の見解としては良いと思いますが、将来使用していくと考えるならばこれも実際耐震性はどうかということシミュレーションしておいた方が良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>委員のご指摘のとおり、水道事業所に関しては対象施設ではないため未実施となっておりますが、法律対象外でも実施すべきというのはおっしゃると</p>

<p>委員長</p>	<p>おりと考えています。水道事業所に関しては純ラーメン構造の三階建てですので見る限りは I_s 値が超えていると予測されますが、今回庁舎の耐震計画の方向性としてこの庁舎をこのまま使い続ける判断ができた際には、当然ながらきっちり第三者に診断するつもりです。</p> <p>その他何かございませんでしょうか。</p> <p>また何か思い起こされましたら後でおっしゃって頂いたら結構かと思いますので、7ページの第1章の2の方に移りたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局より説明</p> <p>2 新庁舎建設の整備方法</p>
<p>委員長</p>	<p>せっかくお手元にハザードマップがありますから10ページの新庁舎建設の必要性の最後の3行目との関連で補足説明がありましたらお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>お手元にあるハザードマップですが、平成25年度に改訂された内閣府の基礎データを基に兵庫県が独自に想定判断をしたものを基に作り直したものです。</p> <p>15ページに津波浸水予想マップというものをつけております。</p> <p>これによりますと、津波高さが高砂市では2.3mで、内閣府では3.1mあったものを兵庫県が下げているのですが、それによって越流する部分を着色しております。ただ、それは兵庫県の想定であって2.3m以上ある高砂市の現地盤は安全であると言い切れるか、現庁舎の高さは2.5mで、たった20cmしかないという状況であります。19ページにおいては、平成23年度に発生し市内のいたる所で浸水被害が出た12号台風の降雨量を勘案した内水ハザードマップです。内水といいますと、降った雨が外に出ない浸水という意味です。これにおきまして高砂市役所の周辺で浸水がありました。しかし市役所敷地では浸水がなかったとなっておりますが、これは時間降雨量約80mmだったと記憶しているのですが、最近発生した広島の大雨による土砂災害などをみてみますと、それ以上の雨が降らないという約束はどこにもありません。現状の治水整備状況においては決して安全ではないということがこの図を見ればわかります。それと、21ページですが、天川、西浜川、鹿島川が溢流した場合、堤を越えてオーバーフローしてきた場合、また23ページでは中小河川が溢流した場合はどうなるかという実績を勘案した図面となっております。ですので委員の皆さんにおっしゃって頂きましたような備えは十分必要であるということになります。また、21ページあたりを見て頂ければわかりますが、調整区域周辺にもかなりの被害予想が出ております。これは降った雨が排水できず、田んぼに溜まっているという状</p>

	<p>況です。この辺りに庁舎を移転し建替えをすることを考えますと相当大きい治水事業のインフラ整備が必要になるということはこの図面を見るとわかっていただけたと思います。以上端折りましたがハザードマップの説明を終わります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。 提言書の7ページから10ページまでをご説明頂いたこととなります。それでは第1章の2のところとなりますが、なにかご不明な点やご意見がありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>いま、3つの整備方法の話がありました。1つ目の耐震補強というのは始めからこんな無駄なことをすることはできないということになります。そうすると2つ目の現地建替えと3つ目の移転建替えということなのですが、現地建替えは可能であります、移転建替えは本当に実現可能であるか、用地を購入するなど時間がかかるし、その間前に戻って現庁舎を耐震補強しなければならないなど、費用的にも時間的にもかなりかかります。実際用地を買収するのにどれくらいかかるか、用地を買収後完成まで3年となっておりますが、それから工事を決めて実際にその土地が買えるかということも考えると、方向性としては現地建替えを重きにおいてするのか、まだ現地か移転かを検討課題におくのかということです。時間もお金も掛けられるのであれば移転建替えの方が市民アンケートにもあった市民の要望を叶え得るだけの庁舎が建てられると思いますが、ある程度皆さんの意見を聞いて方向性を決めて前に進める方が良いと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>一応10ページの新庁舎建設の必要性の文章としては下から4行目のところで、提言内容としては当委員会では「現地建替え」が望ましいと考えるという結論で良いのではないかというご意見と受け取ってよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>比較ですから、説明においても2つ目の現地建替えがアンケートの中でも多いですから、他の2つはやめて現地建替えということを具体的に検討すれば良いと思います。私が思っていたのは、現地建替えを行う場合でも、耐震補強をする必要のない建物がありますが、それを残して本庁舎を建ててということになれば、庁舎が分散していることの改善が本当にクリアできるのかが疑問です。一つの意見としては今あるものの全て潰して空地进行を広くし、駐車場の問題も含めて解決できるよう良いものを建てるのか、あるいは使える建物はそのままにして本庁舎のみを建替えるのか、アンケートから出た要望に応えられるかということが一番の問題だと思います。</p>

事務局	<p>委員からのご指摘はごもっともだと思っております。委員長からも説明いただいたように、委員会として、整備方法3案あるうち、耐震補強という選択はないだろう、また移転建替えはお金が掛かるから無いだろうということで、現地建替えしか残らないこととなります。委員の皆さんが現地建替えで良いという了承を頂けた後に、委員さんがおっしゃるような具体的な検討に入っていきます。現段階では今年度検討委員会で皆さん集まって頂きましたが、今後次のステップでの検討になりますと多くの時間と調査も必要になってきます。南庁舎、西庁舎を潰して広くするというご意見に対しては、例えばですが、南庁舎分は道を挟んでいることもあるので売却してしまう。また、西庁舎は鉄骨造で後々建替えるのであればその分はその時に新しく建てたものに増築するなどいろいろな考え方ができると思いますが、当委員会の事務局においても、その検討は次の段階でじっくり時間をかけてやらなければならないことと認識したうえで、今回はそこまでは立ち入っていないという状況です。委員がおっしゃったことは十分理解させて頂いております。また、最後に部長から今後の事務の進め方を説明することになっておりますが、現在においては皆さんのご意見の集約としましては10ページの下から7行目に書いてありますように『「現地建替え」が望ましい』という方向性を示して頂くということは大きなものと考えております。</p>
委員長	<p>その他ご意見あればお願いします。</p>
委員	<p>気付いた点なのですが、10ページの必要性の中に市民サービスコーナーなどがあると書いてありますが、庁舎の建替えだけに関してであればそれでよいのですが、全体を見てバランスがどうかということであれば、ここには地図や庁舎との位置づけがあればわかりやすいと思います。</p>
委員長	<p>市庁舎以外の公民館や施設についての質問ですが、事務局はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>さきほどの委員からのご指摘は10ページ中ほどにある市民サービスコーナーや市民コーナー7箇所、公民館8箇所あるということが分かりづらいという意見でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>文字だけだと見にくいかと思います。</p>
事務局	<p>高砂市全図の上に市役所の位置及びサービスコーナー、公民館の位置を重ね合わせた図面はありますので、つける必要があれば参考資料として巻末につけることは可能ですので追加する方向で検討したいと思います。</p>

委員長	その他何かございませんでしょうか。
委員	<p>個人的には現地建替えではなく、移転をした方が良いと思っています。それは西庁舎、南庁舎を今のままで使うというのは費用の面からみれば妥当なことかもしれません。ハザードマップの中でも総合運動公園エリアは外れているエリアでもあるし、臨時のヘリポートもあります。都市計画変更のハードルが高いのかどうかはわかりませんが、今の陸上競技場の解体を行い、二市二町でゴミ処理施設もやりますので、いろいろなことで運動施設もそうですが、二市二町の中で物事を考えていかないと、これから50年先100年先にどうなっているかは別にして、施設があるから置いておかないといけないという固定概念がどうも引っ掛かります。それと、南庁舎は大変立派な建物で、これは後の話として言われておりましたので別問題として置いておけば良いのですが、あくまでも将来的な庁舎のあり方というのは西・南が併用で今からやるというのはどうかと思います。他の代替えの利用目的で西庁舎を使うということであれば、本庁舎を解体した後には多目的な施設としての用途としては残っていると思います。そこには総合運動公園に移転するという考え方なので、用地買収問題がないエリアを想定してそこへ建てたらどうかと思います。都市計画の変更が運動公園の中でしている例が調べてみるとありますが、それが可能かどうかです。</p>
委員長	今のお話をご意見ということでよろしいでしょうか。
委員	<p>考え方としてということですが。移転建替えの概算工事費の中にはあくまで市街化調整区域を想定した試算ですので、事務局側の考え方では消防署付近の市街化調整区域への移転を考えているということだと思うのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>前段の検証の説明の中でまとめておりますように、公有地の中で約2万平米の敷地を持っているのは委員がおっしゃるように都市公園の中の総合運動公園の辺りをつぶしてという考え方はひとつの候補かなと考えておりますが、二市二町の件も触れておられて、現在ゴミ処理施設は美化センターの方で進めております。今後公有施設のあり方というのは別の組織として検討中でありまして、その検討の中には加古川市に陸上競技場があるから高砂市にはいないのではないかという意見も出るかもしれませんが、それをまとめ上げる時間軸をどうするかが今一番ネックとなっております。その時間軸をクリアするには現庁舎をそれまで耐震補強しなければならないということになってきます。それと、今市街化調整区域での試算ですが、市街化区域になるとこれが現状の2.2～3倍の費用が必要となってこようと思います。</p>

	<p>ポイントを絞って試算したわけですが、今回試算した市街化調整区域は阿弥陀小学校の実績値から出しております。それと、2.2～3倍の価格になるのは荒井町の土地として申し上げました。ただ公有地で2万平米の敷地があるのは、委員がおっしゃっている陸上競技場くらいしかなく、文化会館と福祉保健センターを一斉に潰したとしてぎりぎり2万平米程度になってこようと思います。既存庁舎活用ですが、先の委員のご質問にも回答させていただきましたが、例えば南庁舎に福祉保健センターの機能を持ってくだとか、どこかの施設の機能を持ってきてそこを取り潰す、また西庁舎に関しては第3セクターのようなものが高砂市に必要な際に活用するとか、防災拠点として災害時には市民の方も一時避難ができるような施設などに位置付けて、行政機関は一棟にまとめるなど、いろいろな考え方が出ております。しかしそれは現段階においてはそこまで立ち入って考えられない状態であり、この委員会で現地建替えか移転建替えなどのある程度の方向付けが出来てから、例えば現地建替えに決まったとしても市民の皆さんの意見を聞き、反映しながら建てていくことを事務局は考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>その他ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>意見といいますか、結論が先に出ていてその結論に持っていくためにいろいろと考えているという感じがするので、文言訂正しかないかと思うのです。内容そのものは我々からは分かりにくいところもありますし、これで良いかと思うのですが、この委員会としての仕事としては先ほどおっしゃっていた現地建替えが望ましいという方針を出したということで終わりでしょうか。次はないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今事務局からの説明にもありましたように、委員会としてのまとめでは、現地建替えが望ましいという方針が出ておりますが、委員より別地での建替えはどうかという意見が出ております。私たちはこの委員会では提言書という形での提言を頂き、その後、市としても市長が平成27年度中に方向性を出していきたいと述べておりますので、私たちとしては、この提言書に基づいて次年度予算を考えており、コンサル等に委託していくわけですが、その中で現地建替えか、調整区域に建てる場合ではどれくらいの経費が掛かるのか、あるいは市の所有地である陸上競技場等であればどういう経費が掛かってどうなっていくのかという具体的なものを作って頂きます。その中でこの委員会には引き続き委員の皆さんには残って頂くかと思っておりますが、一応庁舎整備検討委員会というのはこれで終わらせて頂きますが、次はコンサルから出てきた案について、ここでもご意見を頂きたいと思っておりますし、市民や議会にもつないでいながら、最終平成27年度中には市としてはこうい</p>

	<p>う方向で行きたいというものをまとめていくというスケジュールで考えておりますので、この委員会で全てのことを決めて頂くことはおそらく無理だと思いますので、事務局としてはそういうかたちで進めていくことを考えておりますのでその辺はご理解を頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>先ほど説明していただいたことに補足させていただきますと、予算についてですが、まだ通っていませんのではっきりしたことは言えませんが、話の中にありましたコンサルタントということですが、委員の皆さんに出していただいた提言書について、技術的な専門の方の知識や経験からの基礎調査など、私たちでは出来ないことをして頂こうと考えております。提言書の7ページにある表についても内部で調査したもので、現状の東京オリンピックを控えた中での資材などの建築コストのアップなどは若干入っているくらいで大まかな数字となっています。現地建替えの事業期間3年となっているものも建築を担当している部局で協議して大まかに作ったものですのでそれらを第三者にこの提言書を検証して頂き、市としての方針ということで議会と市長ともんでやっていくということです。設計に入るということではありません。</p>
委員	<p>設計には入らないということですが、あと1年掛けて次のステップに行くわけですが、そのステップというのは使用目的を決めていき、その次に設計に入っていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>第2章でまた説明しますが、今、こういう庁舎にするという文字を立体にすると何平米いるか、何億いるかということを来年1年間かけて本当に30億で出来るのかという検証をしていきます。</p>
委員	<p>金額はそこで出るのでしょいか。</p>
事務局	<p>概算の床面積が出ます。床面積も今ここに書いている約何平米が正しいのか、今いる職員数で良いのか、バリアフリーのためには何かと何かをつなげた方が良いのかなどの検証を総合的に行うために予算が通れば第三者に委託していきたいと思います。それから、順調よく財政的にも進められる力があればその次の年度からいよいよ基本的な設計業務に入りたいと考えております。</p>
副委員長	<p>現地建替えの場合でも2年も3年も先になりますが、耐震補強はそれまではしないということ、それまではもつということですか。計画が延びれば延びるほど危ないわけですので。</p>

委員	20年もつのか、明日にもたなくなるのかわからないです。
副委員長	遅くなれば遅くなるほど、無駄になってしまうのではないかと思うので、もっとスピード感が欲しいです。来年にそういうのをして設計をしても完成まであと5年かかります。
事務局	8ページにも図がありますが、現地建替えの中には耐震補強は入れておりません。移転建替えに関しては、建設工期以外の時間がかかりますので、耐震補強をしないままではダメだろうということで入れております。では現地建替えは完成までもつのかというと、地震が来ればもちません。ただ、耐震補強を今からしようとしても、耐震診断はしておりますが、耐震補強の設計はこれから入ります。ということは新庁舎の設計を進めながら耐震補強の設計をすることになり、1年ぐらいの差しかありません。工事に着工するのも1年から1年半ぐらいの差しかありません。そうなりますので新庁舎を建てている間の2年間、地震が来ないということをして信じてということになります。
副委員長	建てるのに3年かかるというのは分かります。それまでにたとえば1年か2年か検証期間があるとしたら5年は見ておかないといけませんね。
事務局	今から耐震補強をする方向になったとしても4年かかります。
副委員長	委員がおっしゃる都市計画を変えて移転ということを考えたらいつのことになるか分からないですね。
委員	でもね、子どもたちの先のことを考えたらどこが良いのかというビジョンをもたないと、今ここだから現地でという考え方はどうかと私は思っているだけです。
委員	それがもし運動公園ではなく、市街化調整区域で移転するとすれば道路のアクセスなどを考えれば高砂市には調整区域がたくさんありますので、可能性としてはありますね。
委員	この時間は限られていると思います。この議論ばかり進めても、私も色々と言いたいことがありますし、次の段階も言っていただいて、総合的に議論したいと思いますがいかがでしょうか。
委員長	はい、それでは第2章の説明をお願いします。

<p>委員長</p>	<p>事務局より説明</p> <p>第2章 新庁舎建設の基本理念と基本方針について</p> <p>1 庁舎のあり方について</p> <p>2 基本理念と基本方針について</p> <p>今、第2章の説明がありました。これまででご意見があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局もおっしゃいましたように、ここで討議されたものが、第3者のコンサルに出されているいろいろなデータを出して頂くということですが、その前に公共の利益とか発注者責任という中で、ただ建物を器として捉えると、必要な予算余裕をかけて形作っていくとか、建築装置として捉えると最終のスペースにおいて高効率を引き出せる最短の導線や執務空間などをシビアに検証することは可能でしょう。建築文化としてとらえたとしたら、建つ位置の風土や歴史・文化がメッセージになって形に表れてくるということまで第3者に委託して組み取ってもらえるかどうかです。建築は単なる器や装置でもないと思います。人は良質な空間に身を置くことで豊かな心の変化がおこり、ある時は緊張し、和み、安らぎ、安心感を得られます。執務空間であれば執務効率の改善につながり来庁者は落ち着いた雰囲気の中で行政に対する信頼を厚くして、存在に満足感を抱いていくという精神的なところですね。そういったものが、ただ人口からして庁舎はどれくらいの平米数必要だとか、こういう機能が必要だとかをはじき出すのは少し違うと思います。ここで一つ抜けているとすれば、キャッチフレーズはこれで良いかもしれませんが、「未来に飛躍 ひと・まち見つめる 高砂市庁舎」ですけれども、基軸というのは高砂市の歴史・文化などのアイデンティティはないがしろにはできないと思うのです。ただ未来に飛躍しようというのはどこでも一緒なのです。地盤に根差して次世代を担う若者たちが郷土に愛着をもってもらうというメッセージ性を発信していかないといいません。何が言いたいかという、これを業者に発注する前に行政として公共の責任や公共の担うべき役割、都市景観もあれば地元業者の育成や時代をリードしていくことなどが公共にはあるはずで民間ではできないことでもあるはずで。それをきちり声にしてコンサルにぶつけていたら何らかの答えが返ってくると思いますが、それではなく単なる経済効率などのみで考えてしまうと、長い年次の中で本当にそれでよかったのかと、他に場所を移した方が良かったのかということも含めてですが、やはり今の行政の時代を検証し、それこそが未来に対しての責任を担うということかと思しますので、ただ提言をそのまま出すのではなく本当は名詞言葉ではなく、動詞で思いなどをソフトタッチにでもきちりと伝えていくことが大事かと思いました。</p>

委員	<p>さきほどの意見に対して補足というか、私の意見としてですが、先日しあわせ映画祭を開催した際に、「永遠の0」の山崎監督とプロデューサーに市内を3時間ご案内しました。映画の監督さんの目線でこの街を見た時にどこに興味をもたれたかと言うと、石切り場の断面です。私が提案した陸上競技場にもし市庁舎が出来て、ランドマークタワーが出来れば、日本三奇の石の宝殿、それから石切り場を見に来たいと思われる方が展望台に上がる可能性があります。古い町並みも興味はもたれましたが、高砂にしかないというのはやはり石切り場の断面で、とても関心をもたれて何枚も写真を撮られていました。</p>
委員	<p>さきほど委員がおっしゃいましたが、しあわせ映画祭に私もスタッフとして参加していました。石切り場の場所など、高砂市には数多くの文化財があります。先ほども意見の中にありました未来ということですが、過去の歴史というところもアピールするポイントだと思います。そのうえで現地にするのか、移転にするのか二者択一の選択になってくると思いますが、本当にこの高砂に必要なものというのがこの第2章に込められてくるのだと思います。それが来年度以降の予算に絡んでくるでしょうが、まずこの第2章を一本の軸としてどこにしたらいいのかということになってくると思いますが、この検討委員会が今年まで行けるところのゴールですが、ゴールではなく明日からのスタートと位置付けるのであれば、11・12ページに書いてあることを争点として議会にもっていき、私たちを含めて市民の方々に理解してもらえようような市庁舎であるべきだと思います。それから中をどうしていくかというのは事務局が言われたように次のステップだと思いますし、それを検討していけたらと思います。</p>
委員長	<p>その他何か意見ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>基本理念のところでも各委員さんから歴史という言葉がかなり出ました。事務局で考えているのは、「未来に飛躍 ひと・まち見つめる 高砂市庁舎」ということですが、基本理念のキャッチフレーズの中にもそういった歴史を感じる言葉を入れた方がよろしいのでしょうか。</p>
委員	<p>過去という言葉が入らないといけないということですね。</p>
委員	<p>過去でなく、この題材でもし都市計画やまちのプランをしろと言われてたら、たぶんカネカさんや三菱重工さんなど最先端の技術をもたれている企業があって、高砂市はローカルではあるけれど世界に通用するこういう技術をもってこうだというイメージで、斬新な建物という風に言葉だけで行ってしま</p>

	うわけですね。そうではなく、やっぱり50年、100年経っても風化しない時代と共に都市を美しく取れるような建物というようなものは謡曲高砂の地のイメージではないかと私の思い込みが強いかもしれませんがありません。
委員	そうですね。基本理念で未来ということがあるとこれから先で過去が完全に消えてしまっているように思えますね。もう一工夫して歴史が入るような文言を皆さんで考えてもらったらと思います。
委員長	では提案します。基本理念のところですが、「歴史・文化を活かして 未来に飛躍 ひと・まち見つめる高砂市庁舎」というぐらいでいかがでしょうか。
委員	今おっしゃったような言葉がちょっとあれば全然違いますよね。今のをメインにしてその下に副題として「ひと・まち見つめる高砂市庁舎」と続けるのでしょうか。
事務局	今のは「歴史・文化を活かして 未来に飛躍 ひと・まち見つめる高砂市庁舎」という風につなげるのですよね。
委員長	そうです。今ので一通りで良いと思います。2行ぐらいになると思いますが、今の内容や意味からすると同等になりますので、サブテーマの位置づけにするより続きの方が良いと思います。その他何かありますでしょうか。
事務局	この度の提言書の基本方針を作らせていただいた立場で個人的な意見ですが、今現在の市庁舎で正面玄関を入れて、高砂市ってどんな街やと振り向いても、尉と婆が置いてあるだけで市内の人も市外の人も高砂市のことが分かりにくいようになっています。高砂市というのはこういう街で、こういうところがありますよというのを見てもらう場というのも必要だと思っています。ただ現状は狭いスペースなのでPRができていません。例えば高砂市木や市花、人口、ブライダル都市、オーストラリアのラトローブ市との姉妹都市の表示などが一切ないこと、またさきほどから委員が言われている日本三奇の石の宝殿などあるいは、十輪寺や街並みなどを紹介する場が本当にありません。市役所に来られたら市内外の人にも高砂市の特色や文化を見れるスペースがあれば良いのかなと考えておまして、基本方針の5つ目の高砂の魅力が感じられる庁舎というのはそういう意図も含めて書かせていただいた次第です。
委員	ビジュアルで展示としてさっと紹介しようということですが、もう少し自然

	<p>な形で精神的なものも入れていった方が良いと思います。案外ここの地域の紹介としていても見ただけで終わってしまいがちですが、自然の中の植生など、竜山石の文化もある程度使いこなしたものであるなどの展示があれば生かされると思いますが、高砂市案内スペースを設けましたというのはちょっと残念かなと思います。</p>
事務局	<p>やり方はいろいろあると思いますが、現状では高砂市の PR が不足していると感じたものですから提案させて頂きました。</p>
事務局	<p>余談になりますが、図書館検討委員会というものが数年前にあったのですが、その時に高砂市の文化を感じるようなものを取り入れてほしいというご意見がありました。私たちハコモノを造る立場として色々と検証しまして、現在建設中ですが、費用のこともあったのですが、図書館の玄関入りますと、正面の壁一面に竜山石の黄石、青石、高いのですが赤石も若干入れたような壁面にしたり、高砂町の塗り壁で塗り版築で外壁を仕上げたりということも組み入れております。ですから、何年か先に実施設計に入った際にこの提言書を元に今言いましたような単純なものではなく、費用の許す範囲で PR していけたらと考えております。</p>
委員長	<p>かなり具体的な話もたくさんでてきましたが、先ほどの基本理念の所で「歴史・文化を活かして」ということを付け加えるということで皆さんご了解頂きたいと思います。</p>
委員	<p>これからの庁舎のイメージについての部分で、「建物だけでなく、職員も魅力あるものであること。」ということですが、これはとてもいい言葉で拍手したいなと思います。ただ、上の部分で従来の庁舎ということですが、高砂市ではなく庁舎建築とはこのようなものだというように聞こえるのですが、これは現存の高砂市の庁舎ということを示していると思います。それを払拭してそれから新しい庁舎はどうあるべきかということで、場合によれば今の庁舎が他人事になってしまわないかなと思ひまして、「従来の」ではなく「現存の」だと思います。</p>
委員長	<p>現市庁舎のイメージということですね。</p>
事務局	<p>はい、今の庁舎ということです。</p>
委員	<p>従来の庁舎というのは権威主義や質実剛健や洋式建築とかになってきますから、それもモダニズムの建築としてはなかなか消防のタワーも含めて良い</p>

	<p>んですけど、そういうニュアンスとは違うと思いますので。</p>
事務局	<p>それでは、その文言を変えるということですか。</p>
委員長	<p>それでよいと思います。</p>
委員	<p>新庁舎に求めるものとして5つ項目を書いています。私が個人的に質問なのですが、用がなくて市役所に来る人っていますか。ここに書かれているのは用がなくても人が集まってくるような建物が良いとか、交流ができて休憩ができてというように書かれているのですが、実際市役所にこられている市民の人ってこの建物だから用がないと来ないのか、そもそも世の中の市役所に行く市民って何かしら用がないと行かんでしょと私は正直思います。それをどういう風にお考えになって、このように書かれているのかというのがまずお伺いしたいのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>私たちが考えておりますのは、市役所は市民が用を足せるためだけにある場所とは考えておりません。例えば市民ギャラリーを作って展示会をすることで人が集まれるようなスペースを作るとか、来られた方が憩っていただけるスペースを設けるという意味でも、用がなくても来ていただけるような場所となればと考えております。そういう意味で開かれた庁舎ということも含めています。</p>
委員	<p>それは市民ギャラリーというものを新たに場所を作ってそこに展示物を常設なのか定期的に何かするのかわかりませんが、催し物をしたらそこに人がきてくれるという意味だと思いますが、ではそれは庁舎でなければならないことなのか文化会館などの施設がいろいろなところにあるはずですが、そういうところで代替してはいけないのか、高砂駅からは文化会館の方が近いでしゅね。そういうところを活用することを考えられないのか、本当に市役所の庁舎というところに本当にいるのかということです。結局イベントがあると知れば人は見に来るかもしれませんが、それが終わった時に住民票を取りに行く用もないのにふらっと市役所に行こうかとなるかと私は疑問に思うのですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私はその反対の意見をもっていて、シビックセンターとかそういうものを40年近く前にボストンのガバメントセンターというところに行ったとき、建物と景観が一体になっていると余所から人が来た時に市役所に行ってみようかということは、ある意味環境整備や展示物だけではなく心地よい空間というのはあるのですね。それは建物と建物の関係とか、パティオなどの</p>

	<p>内部の空間の良さとかが、人の肌に合うのはデザインの力だと思います。そういった魅力をもたせることも庁舎には公共の責任として、一般であれば面積でいって余分な部分は作らないなどするのですが、そこには若干のお金を使う気持ちで行ってもらいたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今、委員が言われたことは私も本当はそう思っているのですが、現地の建替えが前提の話で、スペースが限られている状況で意見としては南庁舎も西庁舎もできればそこへ入ったらいいな、そしたら庁舎分散のデメリットもなくなるなどというようなことを考えた時に、他の施設でも代替できるようなものをあえて庁舎に放り込んで駐車場が狭いまま、西・南庁舎が分かれたままというようなことであれば、必要なものをしっかりと入れていただいて、しっかりと行政サービスをして頂くことで、市民が用を足しに来ただけであったとしても気持ちや気分が今と変わって、気持ちよくいけるということだけでも大分進歩だと思います。委員が言われているように石の宝殿が見えるようなところに建つのであれば、展望台を作るなどをすれば、市外からもまずは市役所を見て頂戴ということになると思いますが、現地での建替えが前提であれば駅からは遠いし、周辺も住宅街だしということ考えれば、市外から来られた方に市役所に来て下さいとはなかなかかならないのではないのか。そしたらここで言っている建替えという前提を読むと建替えしかないという風にかかれているのですが、両立しないような理想がこの第2章には書かれているので、それはどういう思いなのでしょうかと質問をしました。</p>
<p>委員</p>	<p>前提条件でそれを決めてしまっただけではこの敷地では狭いということですが、全国でいえば岐南町や公開によるプロポーザルで100近いアイデアが出てきて、すごく興味のあるプランやこういった方法で解決するんだとかがいう例があります。その中でも固定概念ではなくプロセスを広く公開で募集して、審査することで、市民から問題を聞きながらすると方法が分かりやすく良いと思います。基本計画、基本設計、建設が進められて建った時に初めて「あれ、こんなのだったかな」とならないためにしっかり公開することが大事だと思います。私がこの委員会に参加したので、この意見を言いたかったためということもあります。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員がおっしゃった質問に対して回答させていただきます。休憩するスペースなどが本当に要るのかどうか、用がなければ市民は来ないのではないかとご質問でしたが、市民アンケートを集計した立場から見ると、休憩したり人が寄れたり集合場所となるような庁舎であってほしいという意見も多数寄せられておりました。このように書かせていただいたのですが、用がないと市役所に来ていただけないということは行政に対する関心をもってもらえな</p>

	<p>いことにつながると思います。選挙においても昨今、若年層の投票率の低さも問題になってきますので、今後若い方に行政に関心をもってもらえたりこういうイベントしているから寄ってみようかなと思ってもらえたりするような市庁舎になればという思いをこめて3番に入れさせて頂きました。</p>
委員長	<p>その他何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>事務要素だけであればプレハブでも業務はできるんですよね。でもその中で何を求めるかという、もちろん事務をすることも目的ですが、循環型社会というか、そういったところを目指して、庁舎は庁舎だけの目的ではなく事務だけをやる所ではなく、もう少し目線を下げてどういった地域社会にすれば庁舎という位置づけはうまくいくのだろうかというところを考えていけば良いのではないかと思います。消費＝事務だけではなく、生産＝観光も生むということでお互いWin-Winになれるような、支払うだけではなく、収益も生むようなものを考えられたら上手くいくのではないかなと私は思いました。</p>
委員長	<p>だいたい意見も出尽くしたかと思います。私個人の意見を全然言っておりませんが、10ページの必要性の部分で「現地建替えが望ましい」というところで私自身が特に反応しなかったのは、第1章の1に書かれているIs値0.3未満というのがあまりに恐ろしいからです。現時点でそういう状況で考えた時により早く安全な状況を作り出し、それを経済的なことも含めてより合理的な方法で選択するとしたら多分現地建替えではないかと考えた次第です。移転に絡むことは、みなさんの夢が乗っかっていくことは本当によくわかります。具体的な良い案も出ていたと思いますが、その部分は現地建替えと並行して、多分40年ぐらいかけて実現する話かなと私は窺っていました。ですので、現時点での当委員会の方針としては「現地建替えが望ましい」というくらいの結論でないと思いません。もちろんそれと並行しながら本来あるべき市役所のあり方を考えて数十年先に別の場所に市役所を建てるということを文言に付け加えた形でまとめていったらどうかと思います。かなり現実的な発想に立っていますが、市民のみなさんが市役所に行っていることもあるでしょうし、職員の方もいらっしゃいます。庁舎に何人働いておられるのですか。</p>
事務局	<p>400人くらいおります。</p>
委員長	<p>その方々の生命とか安全に対しても考える所があるのではないかと思います。また間もなくですが、大型の建築物についての危険物に関して公表され</p>

	<p>ることになっていて、その中に庁舎建築として唯一高砂市役所が入ってくるのではないかと伺っておりますので、そのあたりの迫った感覚というのは現実的かと私自身は思っております。</p>
委員	<p>震災の非常時に仮設住宅でコミュニティをどうしようかという議論をしても延々に進みません。街の良いコミュニティを作ろうと考えるのは、50年、100年を見越して平時に考えていかないといけないのですが、高砂市の庁舎はある意味“非常時”だと思います。だから委員長のおっしゃる話はよくわかります。5年、10年考えていけることであれば良いのですが、今の非常時において何が一番対処できるかという間近な問題としては重要かと思えます。</p>
委員長	<p>私が発言してしまったのですが、みなさん他に何かありましたらお願いします。逆に言うと差し迫った状況でないところした庁舎に関する委員会というのが始まらないというのは非常に大きな問題なのかもしれませんが、日常から先を見据えてそろそろ準備を進めないといけないという話し合いはされていくべきだったのかもしれません。高砂市庁舎の場合は非常に差し迫った状態でこうした議論が始まったということで、議論の幅を狭めているというのは事実だと受け取っています。</p> <p>というところで、先ほど第2章のところでも文言の変更等の提案がありました。それから第1章の10ページ新庁舎建設の必要性の所で「現地建替えが望ましいと考える」という程度であればみなさんのご理解を頂けるかということですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>最終結論ではないということですね。</p>
委員	<p>これを踏まえて次の議論に入るわけですから、ここで断定はできません。ここは基本方針ですから大事なことは次に委ねないと仕方がないのかと思っています。ここで具体的にいっても仕方がないですから、これはあくまで基本方針ですから右へ行こうと左へ行こうと良いのですが、あまりこれ以上議論しても時間ばかり掛かってしまいますし。</p>
委員長	<p>それでは、ご理解頂いたということでよろしいでしょうか。事務局としては継続して議論する場を設けるということですね。</p>
事務局	<p>はい、一旦「庁舎整備検討委員会」というのは今年度で終わらせて頂きたいと今のところ考えておりますが、先ほど申し上げましたように次のステップに行くときに市民の意見、議会との意見も当然必要になってきますので、そ</p>

	<p>の時には名前を変えることになるかもしれませんが、今委員になっていただいているみなさん方には残って頂き、別の形でご参加して頂き意見を聞きたいと考えております。ですので、ここで「庁舎整備検討委員会」としては終わらせて頂きたいと思えます。</p>
委員長	<p>ということで、何かご意見はありますでしょうか。</p>
副委員長	<p>一応、検討委員会としてはこれが結論ということですね。</p>
事務局	<p>提言書としていただく形です。</p>
委員長	<p>ただ、今意見が出ていることをなるべく文章に入れるようにすることが大事だと思いますので、後で私がみなさんの意見がきちんと反映されているかの確認をするということで、その点については御一任いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>これで庁舎整備検討委員会は閉会となりますので、最後に事務局の方から挨拶をさせていただきます。</p>
事務局	<p>閉会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思えます。第1回の高砂市庁舎整備検討委員会を7月に開催し、それ以来10月と本日延べ3回の会議を開催させて頂きました。委員の皆さんには活発なご意見、ご議論を頂きまして提言書としてまとめて頂いたことに対しては本当に心より御礼を申し上げたいと思えます。提言書の冒頭にありますように、頂きました提言を基に市としての方向性もまとめていきたいと考えております。また、その案ができましたらみなさんのご意見、市民の方のご意見、議会のご意見をお聞きしながら進めてまいりたいと思えますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。誠にありがとうございました。</p> <p>閉 会【午後8時55分終了】</p>